

質問	回答
<b>1. 応募資格 (年齢・所属など) について</b>	
1 GTIEに参画していない大学に所属しています。応募できますか？	はい、応募できます！ 所属機関に関係なく、応募資格を満たしていれば、大歓迎です。
2 シーズ開発者本人でなくても応募できますか？	応募者本人が開発した技術(シーズ)でなくても構いません。応募の際は事前にシーズ開発者の了承を得た上でご応募ください。課題意識や事業の方向性を明確に持っていれば、外部の技術とコラボレーションする形で応募可能です。
3 海外の大学/研究機関/企業に所属しているのですが、応募可能でしょうか？	ご相談ください。ただし、ビザによる制限や為替の部分は、申請者本人が責任を持って手続きをすることを前提とします。
4 大学で研究室に所属しているのですが、学部生です。応募は難しいでしょうか。	原則は修士以上の方を対象としていますが、学会参加等の活動による、修士研究と同等とみなすことのできる研究経験があれば応募可能です。ヒアリングにて個別に対応させていただきますので、事務局までご連絡ください。
5 客員研究員や客員准教授等であっても応募は可能でしょうか？(博士号は取得しています)	応募可能です。
6 応募時点での年齢が40歳以上です。博士課程進学前に社会人経験があり、研究者としては若手ですが、応募可能ですか？	年齢制限を厳密に設けており、本ファンドにはご応募いただけません。相互交流を目的とし、WISER Discordコミュニティは学位取得後8年以内でしたらご参加いただけますので、ご興味があればご参加ください。
7 現在海外に拠点を置いています。応募にあたって筆頭者が日本国内に住民票をもつ必要がある、等の条件はありますか？	住民票の場所について指定はありません。在留資格やビザ、資金受け入れに関して必要な手続きは応募者ご本人にご対応いただけます。
8 応募書類の提出後から支援開始までの間に法人登記を予定していますが、採択の対象となりますか？	支援開始前に登記を完了されている場合は、採択の対象外(支援対象外)となります。本ファンドの支援対象者は法人登記前の個人となっております。そのため、支援開始時点で既に登記が完了している場合は、本ファンドの趣旨と合致しないため対象外となります。なお、支援期間が始まってからの法人登記については問題ありません。
<b>2. 応募・事業内容について</b>	
1 他のプログラムと並行して申請することは可能でしょうか？	はい、他のプログラムと並行して申請していただいても問題ありません。並行参加される場合は、各プログラムの対象経費や期間等にご注意いただき、不明点があれば事前にご相談ください。
2 応募には、WISERコミュニティへの登録が必要ですか？	本プログラムでは、WISERコミュニティのDiscordサーバーを通じて情報共有や連絡を行う場合がございます。そのため、応募にあたってはコミュニティへの参加(Discord登録)が必要になります。WISER Discordコミュニティ参加登録フォーム: <a href="https://forms.gle/9DpLYC3RbPyfkkE7">https://forms.gle/9DpLYC3RbPyfkkE7</a>
3 応募資格に「東京都内での起業を目指していること」とありますが、どこまで具体性を求められますか？	都内で事業展開できるアイデアであり、都内で起業を目指していれば応募可能です。地方でしか行えない内容の事業などは応募できません。
4 外部の技術とコラボレーションする形でOKとありましたが、先にアポイントをとってある程度了承をとれないといけないのか、それとも構想段階の応募でも良いのでしょうか。	外部の技術をコアとして活用したい場合は、事前に先方の了承を得たうえでご応募ください。ご自身でコアの技術を持っている場合は、連携の構想段階での応募も問題ありません。
5 人文系の研究成果をもとにした起業も対象となりますか？	はい、対象となります。
6 開発フェーズに制限はありますか？(応用研究は不可、事業検証以降、等)	特にありません。
7 技術シードの定義はなんですか？	募集対象となる課題は「事業の主たる強みが研究開発的であること」、という回答に限らせていただいております。
8 提出するスライドに関して、スライドの枚数に指定がないものは何枚になってもよいのでしょうか？	テンプレートから各項目の枚数を変更せずに作成してください。
9 面接の日程をある程度指定することはできますか？	原則として弊社から候補日を提示いたしますが、やむを得ない事情がある場合はご相談ください。可能な限り調整します。
10 面接の際、応募時に提出したプレゼン資料を修正・アップデートしたものを使用してもよいですか？	新しいデータの反映など「内容の更新」であればご使用いただけますが、誤字脱字の修正やレイアウトの変更はご遠慮ください。
<b>3. その他</b>	
1 登記費用や特許の申請費用として本GAPファンドの活用は可能ですか？	可能です。
2 DEMO DAYへの参加は必須ですか？	はい。都内で開催予定で、原則現地参加をお願いします。
3 ハンズオン支援・メンタリングへの参加は必須ですか？	はい。おおむね8割以上の出席を期待します。
4 事業ファンドは東京都支援とのことですが、都外への外注などに対する制約はあるのでしょうか？	特にありません。
5 審査員の方は学術の専門家になりますでしょうか？	審査員の属性につきましてはお答えできかねますが、「研究開発の事業化」という本ファンドの趣旨にふさわしいご専門・ご経験をお持ちの方々にご審査いただけます。
6 メンターは株式会社ayoyのスタッフの方になりますか？	メンタリングは、基本的に採択者の専門分野やフェーズに応じて、外部の専門家にご協力いただく形で実施予定です。なお、株式会社ayoyおよび連携事業者のスタッフは、メンタリングへの同席や進捗共有の機会において、必要な支援を行ってまいります。
7 ファンドを使って開発した成果物や知財について、プロジェクト後(WISERやGTIEに属したりするのでしょうか？)	WISER(および運営母体である株式会社ayoy)やGTIEに属することはありません。開発者に属します。
8 本ファンドはTOKYO SUTEAMの協定事業とのことですが、応募にあたってはTOKYO SUTEAMで指定されている重点分野(環境・エネルギー・気候変動など)に沿ったテーマである必要がありますか？	採択にあたってTOKYO SUTEAMの重点分野に沿っているかどうかは評価項目ではありません。分野を限定せず、幅広いテーマを対象としていますので、ご自身の挑戦したいテーマでご応募ください。
9 審査基準等は公開されますか？	公開していません。実施の目的と趣旨、応募の説明資料の指示等を参考にしてください。
10 公募によっては数十枚のPDFによる要領が公開されてるものも多いが、そのような資料の公開はないですか？	ありません。
11 支援中に法人設立した場合でも、役員・社員の報酬は対象外という理解でお間違いないでしょうか	役員および株主の報酬は対象外です。社員(雇用関係のあるメンバー)に関しては、全体業務に対して、提案プロジェクトへの貢献分を按分して、研究開発費や実証実験費、調査費として出すことが可能です。
12 これまでの採択率(または採択実績)を教えてくださいませんか？	直近(2025年度)の実績では、応募件数80件に対して10件が採択されており、採択率は約3%です。
13 応募資料の機密性はどのように保持されますか？(外部に公開されることはありますか？)	ご提出いただいた申請内容は、審査に必要な範囲内でのみ審査員および事務局が閲覧し、応募者の同意なく外部へ公開することは一切ございません。